新城市こども園再編・整備計画検討委員会記録簿

第 3 回			追 番		1/4頁
発注者名	新城市	受託者名	株式会社 長大		
件 名	新城市こども園再編・整備計画検討委員会		整理番号		
出席者	検討委員	学識経験者 佐野氏（座長） 有識者 中谷氏 地域協議会会長 山下氏、山本(孝)氏、牧野氏 保護者会役員 加藤氏、佐藤氏、南澤氏 市職員 夏目氏、山本(美)氏、 佐々木氏、城所氏	日 時	R6年2月22日(水) 19:00~20:30	
	こども 未来課	中山課長、井口副課長、森下主任			
	受注者側	長大：浅井、井伊、今田	場 所	新城市役所 3階第1会議室	
			打合せ方式	会議	
配布資料	(事前配布資料) 次第、前回の議事録、検討委員名簿、説明資料				
(発言者)	1. 本計画および検討委員会の趣旨説明				
(事務司会)	(1) 開会宣言 本検討委員会の注意事項の説明を行った。				
(事務局)	(2) 前回の振り返り 計画検討支援業務受託者である(株)長大が前回の検討委員会での主な意見について説明した。				
(事務局)	(3) 補足事項 第2回検討員会の際、再編に関わる地域・保護者会の声を聴くようにとの意見があったことを受け、再編に関わる地域協議会、保護者会に説明と意見聴取を行った。 特に、再編する園を何年度まで維持するかについて、再編する園は令和7年度までの維持と説明していたが、令和6年度に年少で入園する園児が同じ園で卒園できなくなるため、令和8年度まで維持してほしいとの意見が多かった。 また、人口推計について新城市の総合計画に記載の推計を参考にした推計値では人口減少の実態にあっていないという意見を頂いた。 このような地域・保護者の意見を受け、維持する年度や人口推計の修正を行ったため、今回はその確認をお願いしたい。				
(事務局)	2. こども未来課からの説明・意見聴取 「地域のご意見」「変更方針(修正)」「再編・整備計画(修正)」について事務局から説明を行った。				
(委員)	先日、東郷東こども園の保護者会に対し、市から再編計画の説明があったが、保護者から次のような意見が挙がった。 ・短い説明のみでは理解できなかった。 ・令和何年度という説明では、いつのことなのかがわかりづらかった。 ・令和6年度に年少で入園し、年長になるまで園が維持されるとのことだが、転園すべきか考えたいので、最終年度に同級生・年少・年中のお子さんがそれぞれ何名残るのかという情報は年度の切り替わる前に共有していただきたい。 ・再編の時期が当初令和9年度だったのが、耐震性の問題で令和8年度となり、保護者の要望で再度令和9年度となったが、耐震性の観点からは令和9年度としてよいのか。地震対策はすると説明があったが具体的にどんな対策をするのか。				
(事務局)	年度については分かりやすい表現とする。 再編園の園児数について情報が欲しいというご意見について、どの程度の内容を共有するかなど保護者会と話し合いながら、次回・その翌年の入園申込の時期に情報共有したいと考えている。 入園申込は10月頃に募集し12月頃に人数が固まるので、その時点で保護者と話し合う				

	<p>場を設け、園の存続を協議していきたいと考えている。</p> <p>耐震性について、設計や工事等を踏まえると相応の時間がかかるため再編する園に耐震補強はできないが地震対策としてできることをやってみよう。新城市は東海地震に係る地震防災対策強化地域に入っている。対策は進んでいるものの、更新できていない箇所がないか再チェックする。</p> <p>能登半島地震では屋根が重い建物が崩壊したが、東郷東こども園は重い屋根ではないため建物が潰れてしまうということはないと考えており、棚の転倒防止、天井落下防止、ガラス飛散防止といった対策は行う。</p>
(座長)	再編に関して当事者はとても心配だと思う。高校の統廃合の際に各学年が年度でどう変わっていくか、チャートを提示していた。そのようにぱっと見てわかる図があると良い。
(委員)	再編すると通園時間が長くなり、基本保育から延長保育になるというのがよく分からなかった。延長保育とは少し長くこどもを預けるということか。
(事務局)	そのとおりである。鳳来地区の場合、長篠こども園に集約する際に、他のこども園からの通園が10分程度長くなる場合がある。通園時間が延びるので保護者にとって不都合になる。
(委員)	千郷地域協議会で、以前あった千郷子育て支援センターを、新しく園をつくるにあたり併設したほうが良いという意見が出たので検討して頂きたい。
(事務局)	新設こども園については、核となるような園にしたいと考えているので、支援センターや一時保育の拡充が図れるような施設を検討していきたい。
(牧野委員)	新城市全体として園児数が何人で、今後何人になっていくのかという情報が欲しい。余剰定員が書いてあるが、この規模のまま維持していくのか。一時保育は特定の園で実施とあるが、どの園で実施しているのか教えて欲しい。
(事務局)	<p>定員の考え方は施設の大きさに必然的に決まっている。</p> <p>園児数が減っていく中で、未満児の利用が増えてきているため、未満児室を整備する必要があるが、未満児室は3歳以上児より必要な室面積が大きくなるため、定員は見直しを考えている。</p> <p>一時保育はこども園に通っていないおさんを登録制で一時的に預かる制度。現在、新城地区は城北こども園、鳳来地区では長篠こども園、作手地区では作手こども園で受け入れている。</p> <p>人口については令和5年度の実績園児数が約900人だが、新城市推計では令和28年度までに約2割減、今回の推計では令和28年度までに約半数となり、400人を切るほどになる。</p>
(委員)	人口から見ると施設の絞り込みは必要だと感じる。その分他の園を充実させてほしい。
(座長)	財源に限りがあるため絞り込みは必要だが、基準に合わせて縮小してしまうと新城の良さが消えてしまう。そのあたりはうまく考えないといけない。
(委員)	この場での話は絞り込みが中心だが、どうしたらこども園が活性化するのか、こどもを預けたい施設になるかを考えたい。あくまで余分なところに費用をかけずに広々とした園の環境にしてほしいという意図での意見である。
(事務局)	財政状況も潤っていくことは考えにくく、より厳しい再編計画が必要になる時期も来るかもしれない。
(委員)	千郷地区の新設園の場所は決まっているのか。8年前も同様に建替えの話があったが、立ち消えになってしまった。また、千郷中こども園の移動の時期は新しい園ができてからではだめなのかという意見も

	ある。
(事務局)	場所は決まっていないが、アンケートから幹線道路沿いのニーズが多いこと考慮した立地を検討している。 移転の時期は、耐震性、施設の老朽化、敷地の高低差等、課題が多いが、できるだけ急ぎたい。 土地の状況は8年前とは違う。今後、地元の方にご協力いただく必要もあると考えている。
(委員)	東郷東こども園の園児が東郷中・東郷西こども園に半数ずつ移動する想定とあるが、東郷西こども園に行くことはないと思う。 質問や、意見を言いたい保護者のための窓口はどこになるのか。
(事務局)	学区も踏まえると、主に東郷中こども園が選ばれると想定している。東郷中こども園だけに移動した場合でも定員に余裕があるため、多少東郷西こども園に移動しても受け入れられるように半々にしている。 質問・意見の窓口はこども未来課へ直接連絡いただくか、または園長を通して連絡いただきたい。
(委員)	作手地区は再編の計画がないが、令和28年のこどもたちの人数を見るとかなり寂しい。想定値だとは思いますが弱含みに見える。園児数を増やす対策も検討してほしい。
(事務局)	作手地区は他市から移住する方もいると聞いている。
(委員)	風力発電の新設の話があり、風力発電ができるなら転出するという方もいる。風力発電ができるのかどうか皆さん不安がっている。
(事務局)	担当に伝える。
(委員)	舟着地区については保護者の意見も反映されており、再編は致し方ないと思う。対象となる保護者の希望に沿うように再編していただきたい。 地元の協議会でも空き家対策等行っているが移住者が訪れないのが現実である。今後人口が増えることを期待している。
(委員)	再編には賛成である。園の運営や安全面でもある程度職員数・園児数が必要。 こども園は再編しても、小学校と整合していないことに意見が出ると思う。 教育委員会の考えを共有すれば理解も得られると思うので、小学校数と整合しない理由についても答えを持っておいた方がよいと思う。 保護者に幼児教育・教育面のメリットを伝えられるとよい。
(事務局)	鳳来地区でも同じような意見が出た。集団の育ちの確保については理解していただいたが、小学校で離れてしまう点は課題である。 学校は地域住民とのつながりがこども園よりも強いため、市の主導で再編・統廃合が難しい。こども園が先行して再編することで、学校も再編が進むかもしれない。
(委員)	園の立場からは保育士の確保が重要な課題である。 一時保育・未満児保育のニーズの多さに対応できていない現状がある。 未満児保育の要望が多いと、こどもが減っているにもかかわらず職員の確保が難しい。 土曜保育に対応する職員は平日に振休が必要となる。その分、平日の保育が手薄になっては本末転倒である。 保育士の確保が難しい現状が加速しており、園長会でもこども未来課とともに対策を協議して行きたい。
(委員)	東郷東こども園は再編の計画もあり、耐震性の面でも不安がある中で、こどもたちを守るためにこどもたちを守るためにどうしたらいいか考えながら過ごしている。

	<p>保護者の安心・園児の安全が一番大事なので、こども未来課と話し合いながら進めていきたい。</p>
(委員)	<p>鳳来こども園の保護者会で、通園距離が長くなることを不便に感じる保護者も何人かおり、中には仕事の兼ね合いから他の地域のこども園への転園を考える保護者もいた。また、通う園によっては自分の勤め先も変更する必要があるかもしれないと心配される方もおり、通園距離が変わることは保護者にとってそのくらい大きな問題であるようだ。1年再編が後ろ倒しになり、卒園まで通い続けられることに安心された保護者もいた一方、自分のこどもが年長になった際、何人園児がいて、数人しか残らなかった場合も存続してもらえるのかと心配もされていた。</p> <p>長篠こども園は一時保育をしているが、城北こども園の一時保育に空きがないためにわざわざ来られる方もいる。そうした方は早く家を出て迎えに来なければならない。一時保育を実施する園が増えてほしい一方、保育士不足もあり、受け入れたこどもたちをだれが保育するのかということも併せて考えなければならない。</p> <p>長篠こども園では未満児保育室の中で一時保育の子を預かっている。毎日違う子と過ごすことはこどもたちにとって不安にもなる。</p> <p>一時保育の在り方も併せて考えてもらえると良い。</p>
(委員)	<p>再編にあたり、保育サービスの強化が求められている。保育士が計画通り採用できていないので、この再編計画によって集約することでサービス面を強化できるようにしていきたい。現場の意見も様々あると思うが、再編によるサービス面のメリットを上手く計画に落とし込むことが大事だと感じている。</p>
(座長)	<p>一時保育の登録は今こども未来課に行く必要があるが、すぐに利用したいという時もあるので、スマホで一時保育の登録ができると良い。</p>
(事務局)	<p>庁内でもDX化の動きがあり、いろんな手続きを電子化できればいいのではという声が上がっている。この計画作りにおいても市民アンケートはweb上でのアンケートツールを活用しており、そういったシステム活用により対応できるのではないかと考えている。やり方も含め、今後検討していく。</p>
(座長)	<p>財源の規模が縮小する中でも、集団の確保・耐震化を進めていただきたい。</p> <p>保育士不足が深刻で保育士養成の学校も多くが定員を大きく割っている状況である。地方の保育者は東京・大阪といった都市部にとられてしまう中、何とか地元にとどめたい。千郷地区の新設園は幼保連携型の認定こども園にすれば、新都市で幼稚園実習ができる。そうすれば地元の学生が市外で実習し、市外に就職してしまう現状を変えられる。幼保連携型の保育は現状とほとんど変わらず、行政面が変わるのみであるため、検討してほしい。</p> <p>保育のすばらしさを伝えられるようにこどもたちを育てていただきたい。</p>
(事務局)	<p>3. 今後の流れ</p> <p>計画書の素案は3月上旬に検討員会のメンバーに郵送でお示しし、そこでのご意見を反映し、5月中旬から1か月間パブリックコメントを実施する。</p> <p>パブリックコメントでの意見を反映し、再編・整備計画を策定する。</p> <p>その後個別の計画も詳細化していくこととなるため、今後ともご協力いただきたい。</p>
	<p>以上</p>